|  |
| --- |
| **◆ UDC2022地域拠点活動計画書：** |
| **拠点・ブロック名称** | **コーディネータ名（所属/メールアドレス）****代表的な窓口の方１〜2名．連座制の場合は代表の方に◎をつける** |
| ○○ブロック（都道府県単位で記載） | ○○○○（○○市○○部○○課、〇〇株式会社、〇〇大学/xxx@xxx.jp） |
| **地域の課題・悩み** |
| ○○県/○○市の地域課題は、・・○○市では、・・・○○では、・・・ |
| **今年の活動の抱負** |
| （UDCの活動を通じて実現したいことを記載）※継続拠点は、今年度特に力を入れたい事を記載ください。 |
| **地域拠点活動のテーマや分野について** |
| ※地域拠点活動で計画している内容と近いテーマを差し支えない範囲で選択してください（複数可）．仮の予定で構いません。なお、**太黒字**は今年度の重点テーマです。まちづくり・都市計画/**医療・健康**/河川・港湾・上下水道/教育・政治/産業・観光/**住宅・土地・公園・公共施設**/生活・文化・地域アーカイブ/道路・交通/農業・林業・漁業/防犯・防災/その他（　） |
| **イベント開催時期****※2回は開催必須です** | **概要（本年度も当面オンライン開催を奨励します）** |
| 7月1日　キックオフシンポジウム@東京 |
| 1回目2022年8月中旬 | 目的・名称：キックオフミーティング 概要：年度計画の周知と取り組み継続の宣言 人数：20名 対象：○○市・○○  |
| 2回目 2022年10月上旬  | 目的・名称：センサソン 概要：課題の抽出と解決方針にむけた討議 人数：20名 対象：○○＋近隣/連携企業 |
| 10-11月頃　中間シンポジウム＠岐阜orオンライン |
| 3回目 2022年11月下旬 | 目的・名称：マッシュアップミーティング 概要：解決にむけたマッチング（技術・人） 人数：20名対象：○○＋近隣/連携企業＋外部講師＋外部関係者 |
| 3月11日　最終シンポジウム・最終審査会@東京orオンライン |
| **必要とする支援の内容** |
| UDC実行委員メンター | 不要（居なくても問題ない）、必要（求める支援内容：　　　　　　　　　　　　　） |
| 地域拠点活動支援費 | 不要（無くても問題ない）、必要（想定する用途：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| UDCと地域の大学（学科や部局単位で可）との年間を通じた共催の協定に関する見込み | ※本年度もUDC2022実行委員会として、地域大学との連携を支援したいと考えています．コーディネータもしくは協力機関に大学の教職員の方がおられる場合、当実行委員会と年間を通じた共催を依頼することは可能ですか？可能応相談非該当・難しい |
| 全体シンポジウム参加交通費 | ※コーディネータが年3回の全体シンポジウム（現地開催可能な情勢になった場合）に参加する際に交通費支給を必要とする場合、ここに必要金額を明記ください。各回最大1人分支給可能です。アーバンデータチャレンジの予算総額に限りがあるため、地域拠点にて交通費を負担できる場合、どうぞ御協力ください。また、ANAやJAL、楽天トラベル、旅行代理店等のパックを利用し、費用削減に御協力ください。≪キックオフシンポジウム：7月1日（金）午後＠オンライン≫不要必要→必要費用概算（往復。行程上宿泊が必要な場合宿泊費含む。）：〇〇円≪中間シンポジウム：10-11月頃＠岐阜orオンライン、拠点ネットワーキング会議と併せ2日間で開催≫不要必要→必要費用概算（往復。行程上宿泊が必要な場合宿泊費含む。）：〇〇円≪最終シンポジウム・審査会：3月11日終日＠東京orオンライン≫不要必要→必要費用概算（往復。行程上宿泊が必要な場合宿泊費含む。）：〇〇円 |
| **その他（実施にあたっての留意事項・課題認識/特筆すべき事項）** |
|  |